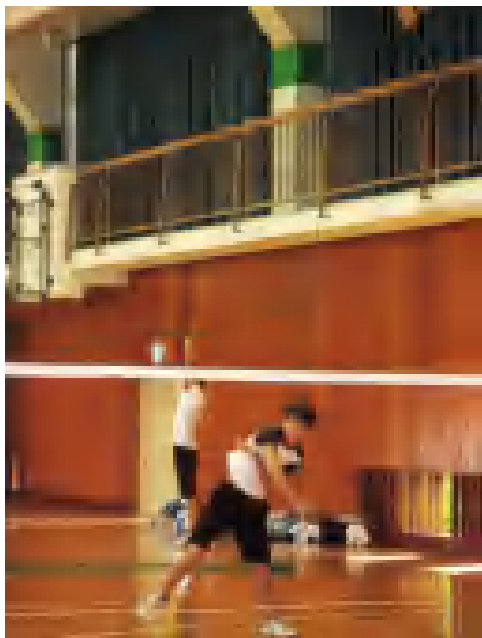


ほうなん 9月号 (広報委員会) より

文化祭が近づいてきました。準備の状況はいかがですか？看板やポスターの準備も進んでいるようで、残って作業する人たちが増えてきました。あと一週間です。計画的に準備をしていきましょう。

さて、今月の「ほうなん」はバドミントン部取材しました。9月10日(水)



の放課後、体育館で練習を見せていただきました。北京五輪での「おぐしお」や「すえまえ」の活躍で理解していたつもりでしたが、運動量の多さにびっくりしました。

Q1、活動日や練習について教えてください。

A、週2日、月・水の15:00から17:00の2時間練習をしています。できればもっと練習したいです。

部活動だから当たり前ですが、参加の意思のある人が練習に出ているので、けじめがあって楽しいです。

Q2、始めたきっかけは何ですか？

A、友人に誘われたからです。5月頃最初の数人が集まり、体育でバドミントンをやったりしたときに面白いと感じて入った人もいます。6月頃に加入者が増えて「口コミ」みたいな感じで自然に広がってきました。体育の授業とは使用するシャトルが違うので(飛びやすく、スピードが出やすい)さらに面白いです。



Q3、経験者が多いのですか？

A、ほとんどが高校から始めた初心者です。

Q4、つらい練習は何ですか？

A、ノックです。コートの中を走らされます。かなり短い短距離走を何十本も走る感じです。

Q5、顧問の先生について教えてください。

A、福嶋先生は練習メニューを考えてくれます。

ソフトな感じでみんなが付いてこられるかどうかを考えてくれています。佐藤先生は技術面での指導をしてくれます。

うまくできるまで続けるので、ハードです。先生は二人とも午後部の先生で、部員は午前部の生徒が多いので、授業で接するチャンスがある部員はあまり多くありません。



Q6、バドミントンをやっていて良かったことは何ですか？

A、運動ができて楽しめることと、他学年の人とふれあえることです。

ありがとうございました。11月の定通大会でのご活躍をお祈りしています。